

■ 環境関連施策の実施状況(H21～H24年度)

分野	施策の方向	取組	内容	実績・効果
低炭素地域社会の実現	エネルギー利用の変革によるCO2削減	家庭向け助成	住宅から排出されるCO2を削減するため、高効率給湯器や太陽光発電機器、太陽熱温水器等の導入に対して費用の一部を助成する。	CO2削減効果やニーズ等を考慮し、太陽光発電、太陽熱温水器、高効率給湯器、雨水貯留槽、高断熱・遮熱リフォーム、高反射塗装について助成を実施した。 太陽光発電助成(H21～H24累計)…452件、1,727kW、CO2削減量380t 高効率給湯器助成(H21～H24累計)…1,171件、CO2削減量342t
		中小規模事業所向け助成金、金融支援	中小規模事業所が省エネ設備を導入する際に、助成や利子補給を行う。また無料の省エネ診断、アドバイスを行う。	H22のCO2削減モデル事業を経て、H23より東京都の排出量取引制度を活用した助成制度である、都内中小クレジット活用促進スキームを実施した。その他、小規模事業者向けの太陽光発電、LEDの助成や、無料で省エネ診断・アドバイスを行う省エネコンサルタント派遣事業、環境対策の資金融資への利子補給を実施している。 都内中小クレジット活用促進スキーム…24件、クレジット創出見込1,663t CO2削減モデル事業…4件、CO2削減量50.8t 省エネコンサル派遣事業…38件、CO2削減提案449t
		未利用エネルギーの活用	豊島清掃工場の排熱利用について、技術的条件や事業採算性等の観点から、事業化の可能性を調査・検討する。	排熱利用に伴う事業費、省エネ・CO2削減効果、事業スキーム等の検討を行い、想定される関係者へのヒアリングを実施した。 事業費…約23億円、一次エネルギー削減効果…約3万7千GJ/年、CO2削減効果…約2300t/年
	良質な建築物のストックによるCO2削減	小中学校の改築	新校舎の建築にあたり、屋上・壁面緑化、太陽光発電、雨水利用、省エネ機器の導入を図る。CASBEE(建築環境総合性能評価システム)においてAランク(大変良い)の評価を受ける。	H24.8月西池袋中学校開校。 主な設備…太陽光発電40kW、雨水貯留槽148.47t、高効率照明、人感センサー 緑化：植栽1470本、屋上緑化544.77㎡、壁面緑化216.68㎡ 今後、目白小、池袋第三小、池袋本町小中併設型連携校の改築を進める。
		区有施設の省エネ改修	施設の改修にあたり、高効率照明や空調、太陽光発電設備等を導入する。改修の際は、カーボンマイナス施設づくりガイドラインに準拠する。	健康プラザとしま(太陽光発電、LED照明)、目白図書館(太陽光発電、LED照明)、池袋本町二丁目住宅(太陽光発電、高効率給湯器、断熱アルミサッシ)、南池袋斎場(高効率空調機)、豊島体育館(高効率照明、高効率給湯器、節水型器具、高反射塗装)、西巢鴨第三保育園・池袋第五保育園(太陽光発電)等の省エネ改修を実施した。 区の改修工事におけるCO2削減率(太陽光発電を除く)…H21:5.4%、H22:0.3%、H23:13.2% CO2削減量合計(H21～H23、太陽光発電を含む)…51t
		都市更新の機会をとらえた面的な誘導	駅周辺整備や再開発事業を実施する際、街路樹や壁面緑化を整備し、環境に配慮した街への更新を誘導する。	椎名町駅周辺整備事業、東池袋四丁目地区市街地再開発事業(第2地区)等で、壁面緑化や街路樹の整備、公園の整備等を実施した。大塚駅周辺整備事業でも、通過交通を排除し、みどり豊かで人に優しい空間整備を進めており、今後、補助81号線街路整備とその沿道まちづくり事業においても検討していく。

分野	施策の方向	取組	内容	実績・効果
低炭素地域社会の実現	中小規模事業者によるCO2削減	エコアクション21認証取得支援	区内中小規模事業者に対してエコアクション21の認証取得に向けて支援するとともに、認証登録費用の一部を助成する。	セミナー参加事業者(導入セミナー・認証取得セミナー合計)…60社 助成件数…17件
		商店街・公衆浴場の支援	商店街が所有する街路灯をLED化した際に電灯料補助率をアップする。また公衆浴場が燃料を重油・廃油・雑燃からガスへ変更する際に工事費及び燃料代を補助し、クリーンエネルギーへの転換を促進する。	街路灯設置商店会数…86 うち半数以上LED化…35 40.7% 商店街街路灯数…2,687本 うちLED1,234本 45.9% (H24.12月現在) ガス燃料化工事費助成…3件 ガス燃料費助成…20件 区内公衆浴場32件のうち20件が転換
		【再掲】中小規模事業者向け助成金、金融支援	中小規模事業所が省エネ設備を導入する際に、助成や利子補給を行う。また無料の省エネ診断、アドバイスを行う。	H22のCO2削減モデル事業を経て、H23より東京都の排出量取引制度を活用した助成制度である、都内中小クレジット活用促進スキームを実施した。その他、小規模事業者向けの太陽光発電、LEDの助成や、無料で省エネ診断・アドバイスを行う省エネコンサルタント派遣事業、環境対策の資金融資への利子補給を実施している。 都内中小クレジット活用促進スキーム…24件、クレジット創出見込1,663t CO2削減モデル事業…4件、CO2削減量50.8t 省エネコンサル派遣事業…38件、CO2削減提案449t
	家庭でのCO2削減	【再掲】家庭向け助成	住宅から排出されるCO2を削減するため、高効率給湯器や太陽光発電機器、太陽熱温水器等の導入に対して費用の一部を助成する。	CO2削減効果やニーズ等を考慮し、太陽光発電、太陽熱温水器、高効率給湯器、雨水貯留槽、高断熱・遮熱リフォーム、高反射塗装について助成を実施した。 太陽光発電助成(H21～H24累計)…452件、1,727kW、CO2削減量380t) 高効率給湯器助成(H21～H24累計)…1,171件、CO2削減量342t
		家庭の省エネ診断	家庭部門のCO2排出削減のため、環境省の専用ソフトを活用し、診断員が省エネの提案を行う。	大正大学と協定を結び、専門診断員と養成された学生診断サポーターが、希望者に対し専用ソフトを活用した対面式の省エネ診断を実施している。 診断件数…261件、CO2削減見込46t
	交通対策によるCO2削減	公共交通システムの検討	高齢社会への対応と地域の活性化をコンセプトに、区民の地域内移動ニーズと池袋副都心の東西への回遊性の向上という区のコミュニティバス構想を補完する路線バス1系統に対する支援を行う。	H23よりバス路線の延伸を開始した。 利用状況…延伸前(H22.6)1便あたり東行き15.0人、西行き11.2人 延伸後(H24.6)1便当たり東行き21.3人、西行き17.1人
		自転車利用の促進	駐輪場整備や自転車利用空間整備を行い、自転車の利用を促進する。	駐輪場台数(民間含む)…H19:14,230台→H24:17,224台 劇場通り(川越街道～勤労福祉会館間)において歩行者、自転車双方の安全性に配慮した歩道空間1.3kmを整備。
		駅周辺交通対策	自転車や歩行者に優しい駅前広場空間を含む駅周辺整備を進める。また、自動車利用の適正化を図るため、調査・検証を進める。	駅周辺整備として、H22.9月池袋駅西口広場整備、H24.10月椎名町駅周辺整備が完了。現在大塚駅南口を整備中である。 また、特に池袋駅周辺においては、「人が主役」となる交通環境を目指しており、将来のまちづくりの方向性を見据えた交通のあり方を示した池袋副都心交通戦略の考えのもと、駅前に目的がある自動車利用の適正化を図り、歩行者を優先とした道路や駅前広場空間の確保、さらに公共交通への利用転換を推進していくなど、具体的な調査、検討及び検証を実施していく。
	環境に経済的な価値を持たせた取組み	カーボンオフセット、排出量取引の活用	区主催事業にて、カーボンオフセットを実施する。また排出量取引を活用した、中小規模事業者向けの助成制度を実施する。	「グリーンとしま」再生プロジェクトにてカーボンオフセットを実施した。 都内中小クレジット活用促進スキーム助成24件、クレジット創出見込み1,663t

分野	施策の方向	取組	内容	実績・効果
環境まちづくり	ヒートアイランド現象とそれによる影響の緩和	身近な環境配慮行動支援(緑のカーテン)	様々な主体と連携し、ヒートアイランド対策に効果的な緑のカーテンづくりや打ち水などの身近な取組みを推進する。	緑のカーテンH21～H24実施状況…延べ257区施設 H24: 学校23、施設59 打ち水H21～H24実施状況…延べ231区施設、25団体 H24: 69区施設、1団体
		住宅における緑化	地域の緑化及び緑の保護と育成に対し、その経費の一部を助成し、住宅・民有地における緑化を推進する。	民有地の屋上緑化、接道緑化、壁面緑化、保護樹木・樹林の維持管理に助成を実施している。 緑化助成(H21～H24累計)…54件、屋上緑化(H21～H24累計)…769㎡ また、年2回つる性植物の配布やガーデニング・盆栽教室を実施し、区民の緑化意識の高揚を図っている。
		学校、区施設等における緑化	区立全小・中学校や区有施設等に植樹することで、子どもたちに生きた環境教育を行うとともに、地域の緑化気運の拡大を目指す。 また区内小中学校の校庭を芝生化する。	「グリーンとしま」再生プロジェクトにより植樹を実施している。(H21～H24) 「いのちの森」植樹実績…31,453本、延べ104施設、生徒9,837名、その他4,110名参加 校庭芝生化…5校、面積5,356㎡
		地区、街区での緑化	向う三軒両隣方式による民有地の接道緑化(界わい緑化)や狭あい道路拡幅整備による緑化、都電沿線の緑化を支援する。また、街路樹の整備を推進する。	大塚をモデル地区として界わい緑化事業を実施した。(緑化件数:12件、18本) その他、都電沿線にバラの植樹をする南大塚都電沿線協議会の支援や、みどりのネットワーク事業としてサンシャイン60通りの街路樹の新植・植替や、狭あい道路を拡幅した際の接道緑化助成を実施している。
		公園、広場の整備	公園の新設や、既存の公園の拡張により緑化を推進する。	南長崎はらっぱ公園、池袋本町電車の見える公園を整備、拡張した。 公園面積…187,812.53㎡(H21.4.1)→191,607.82㎡(H25.4.1)
		環境配慮区道整備	道路舗装に遮熱性舗装を施工することにより、ヒートアイランド現象を抑制する。	道路の幅、日当たり等を考慮し、効果の高いところから実施している。 施行箇所: 池袋駅西口、サンシャイン周辺、劇場通り 遮熱性舗装9,326㎡、排水性舗装1,197㎡
ごみの減量と循環型社会の実現	資源の有効活用に向けた取り組み	資源回収品目の充実	平成20年10月より、区内全域において開始した資源回収の回収増、ごみの分別変更等を内容とする新資源回収事業を円滑に実施し、ごみ減量・リサイクルの推進を図る。	8品目12分別の資源を毎週回収する新資源回収事業はほぼ定着した。 廃食用油(H22～)、蛍光管(H24～)について拠点回収を実施している。 また、回収品目の拡大等について、リサイクル・清掃審議会で検討を行っている。
		集団回収の充実	町会・自治会、大規模マンション等の実践団体が主体となり、月1回古紙、古布、空きびん等の資源を回収する。	集団回収の実践団体に対し、報奨金や資源リサイクル倉庫の貸与等の支援を行っている。町会・自治会を中心に実施していたが、H20よりマンションへ拡大した。 資源化率…H20: 21.5%→H23: 20.9%
	大幅なごみの減量に向けた取り組み	区民、事業者、区によるリデュース・リユース	区民や事業者に対して、情報提供、普及啓発活動を行い、ごみの減量やリサイクル等を促進する。	レジ袋削減・マイバッグ利用を推進、印刷関連リサイクル、リサイクルフリーマーケットへの支援、生ごみ処理機活用支援、リユース食器活用推進、家具等のリサイクルを実施している。 ごみ量…H20: 67,220t→H24: 59,961t(速報値)
	低炭素社会と循環型社会の統合に向けた取り組み	廃棄物処理・処分に伴う環境負荷の低減	リサイクル・清掃事業における温室効果ガスなどの環境負荷を低減する。	収集運搬の効率化や低公害車の導入を実施している。 清掃工場排熱利用について基礎調査を実施した。

分野	施策の方向	取組	内容	実績・効果
環境の保全	大気汚染、騒音・振動、土壌汚染、アスベスト、公害苦情、化学物質への取組み	監視、測定の実施	騒音振動、大気汚染、水質土壌汚染、ダイオキシンについて、法令などに基づく監視や測定、指導等を適正に実施する。また、アスベスト分析調査について助成する。	監視、測定を実施し、結果を公表している。 また、区民の要望の高かった、環境放射線について、区施設を中心に測定を実施した。 アスベスト調査助成件数…7件
	環境美化に対する取組み	路上喫煙、ポイ捨て対策	キャンペーンやパトロールを実施し、路上喫煙・ポイ捨てを防止する。また、町会・商店会・学校・事業所等と協働し、地域の清掃活動等の拡大を推進する。	喫煙のルール化を進めるため、H23.5月に「路上喫煙及びポイ捨て防止に関する条例」を施行した。 毎年5月30日を「ごみゼロデー」として、区内の町会、商店会、学校、事業所等の関係機関に一斉清掃への参加を呼びかけている。 路上喫煙率(区内14駅前)…H22:0.31%→H23:0.24% ごみゼロデー参加者(H21～H24累計)43,807人
豊島区の環境率先行動	オール区役所の取組み	エコアクション21認証取得	区が事業者として環境活動に取り組む姿勢を明確に表明し、行動するため、環境マネジメントシステム「エコアクション21」の認証・登録を受ける。	H24.8月本庁舎について認証を取得した。 今後は他の施設についても取組みを拡大していく。
		庁内温暖化対策	「環境配慮ガイドライン」の目標達成に向け、全職員でCO2削減・省エネ行動に取り組む。	デマンド装置58台、エネルギーモニター5台を導入し、職員が省エネ対策に取り組めるようエネルギーの見える化を図る等、省エネ・節電対策を実施している。 区役所のCO2排出量…H19:17,156t→H23:15,164t ガイドラインのCO2削減目標(H19比で11%以上削減)を達成した。
	区有施設のCO2削減	ガイドライン策定	カーボンマイナス施設づくりガイドラインの策定、改訂	区有施設の新築、改修の際に、省エネルギーシステム、再生可能エネルギー、高断熱化、緑化等の導入の基準を定めた、「カーボンマイナス施設づくりガイドライン」をH21.3月に策定し、H25.4月に改訂を行った。
		【再掲】 区有施設の省エネ改修	施設の改修にあたり、高効率照明や空調、太陽光発電設備等を導入する。改修の際は、カーボンマイナス施設づくりガイドラインに準拠する。	健康プラザとしま(太陽光発電、LED照明)、目白図書館(太陽光発電、LED照明)、池袋本町二丁目住宅(太陽光発電、高効率給湯器、断熱アルミサッシ)、南池袋斎場(高効率空調機)、豊島体育館(高効率照明、高効率給湯器、節水型器具、高反射塗装)、西巣鴨第三保育園・池袋第五保育園(太陽光発電)等の省エネ改修を実施した。 区の改修工事におけるCO2削減率(太陽光発電を除く)…H21:5.4%、H22:0.3%、H23:13.2% CO2削減量合計(H21～H23、太陽光発電を含む)…51t
		環境モデル庁舎	新庁舎について、建物の長寿命化を図るとともに、最新の技術や設備を積極的に導入し、緑化や自然エネルギーを利用した省資源・省エネルギー型の庁舎をめざす。	緑化の推進(屋上緑化、壁面緑化)、太陽光発電等自然エネルギーの利用、雨水利用・節水システム等の整備、地域冷暖房の導入、熱負荷・換気エネルギーの低減、省エネ照明・適正照度制御等の導入を計画している。また、庁舎屋上の庭園「豊島の森」と、8・6・4階の緑化した屋上テラスを階段で結ぶ「エコムーゼ」を設置し、そこで区内の生態や植物を体感し・学ぶことができる環境文化の拠点を創出する。
		再生可能エネルギー導入	施設の新築、改修にあたり、太陽光発電設備等を導入する。	区施設太陽光発電設置状況…H20:2施設、計15kW →H24:11施設、計141kW
施設以外のCO2削減と環境配慮の取組	省エネ街路灯の整備、庁有車の環境配慮	老朽化した街路灯を、省エネルギー型灯具に更新する。 庁有車を導入する際には、低公害、低燃費の車種を選定する。また、設置可能な車にはアイドリングストップ装置を装着する。	老朽化した水銀灯から長寿命で高効率なエバーライトへ順次更新している。 更新率…H20:1%→H24:15% 庁有車103台中、ハイブリッド車13台、天然ガス車6台。約8割の庁有車に、アイドリングストップ装置を装着した。	

分野	施策の方向	取組	内容	実績・効果
多様な主体による連携・協働	環境ムーブメントの展開に向けて	普及啓発	イベントや環境情報誌を通じて、様々な取組みについて情報を発信し、環境ムーブメントの機運を高める。	区民と区職員が一緒に企画・編集・取材を行う環境情報誌「エコのわ」を発行している。また、区民、企業、団体、大学などと実行委員会を組織し、エコライフフェアやものづくりメッセを開催している。 その他、事業者向けにエコアクション21や省エネのセミナーを開催し、先進事例などを紹介している。
		協働事業	企業、大学、NPO等のさまざまな主体と協働し、環境配慮活動を実践していく。	家庭の省エネ診断(大学、企業)、グリーンとしま再生プロジェクト(区民、地域活動団体、企業、学校)、界わい緑化(区民、企業)、みどりのカーテン(区民、NPO)都電沿線緑化(バラの植樹)(地域の協議会)、池袋西口駅前広場の緑化(NPO、大学、警察)、ごみゼロデー(町会、商店会、学校、企業)、としまクリーンサポーター制度(企業、地域活動団体)等のさまざまな事業、活動を実施している。
	次世代を担う子どもたちに向けて	環境学習	環境学習に取り組む学校に対して、様々な環境学習支援を行うとともに、環境保全行動に取り組む人材を育成するため、主に子どもたちとその保護者を対象とした体験型の環境学習講座を実施する。また環境月間行事(パネル展等)を実施し、広く環境意識の啓発を図る。	「学校の森」を使った環境学習、キッズISO14000プログラム、プールにいるヤゴ等の水生生物生態学習、木材の学習、民間企業の実施する環境プログラム、こどもエコ体験隊等の環境学習を実施している。参加校は毎年増えており、H24は10校で19プログラムを実施した。
		「グリーンとしま」再生プロジェクト	区立全小・中学校や区有施設等に植樹することで、子どもたちに生きた環境教育を行うとともに、地域の緑化気運の拡大を目指す。	「グリーンとしま」再生プロジェクト(H21～H24) 「いのちの森」植樹実績…31,453本、延べ104施設、生徒9,837名、その他4,110名参加学校の森を活用した環境学習を3校で実施した。

※CO2の算定方法は各事業により異なる。